第541号
令和８年
3月20日

すまいるたうん

発行元
東京新聞
南千住専売店
℡3803-1781
発行責任者
鬼塚　佳代子
℡090-2657-0300

子どもをまん中に、手を繋ごう。
あらかわ子ども応援ネットワーク
パントリー活動へのご支援をお願いします。

「パントリー（配布）活動へのご支援をお願いします」

「子ども村ホッとステーション」で活動されている鈴木訪子さんにお話を伺いました。

町屋２丁目電停前の「子ども村ホッとステーション」では、２階で衣類・雑貨などの配布、１階ガレージで食材の配布を行っています。毎月第３日曜日には、ひとり親家庭120世帯を対象にした食材配布（フードパントリー）を実施しています。食材や日用品、衣類の提供に加えて、生活相談も行っています。

参加された皆さんには毎回アンケートにご協力いただいており、そこには日々の暮らしの厳しさが切実に綴られています。

「物価高で、子どもたちにも我慢をさせてしまっています」

「食費が増え、休日は1食減らすために遅く起きるようにしています」

「体力も気力も時間もなく、栄養バランスの良い食事を作れず、子どもの健康が心配です」

「子どもが食べ盛りで、もっと食材をいただけると助かります」

「18歳を過ぎると支援がなくなり、将来が不安です」

「家賃も食費も高く、生活が本当に厳しいです」

一方で、こんな温かい声も届いています。

「支援の日は、子どもたちの楽しみの日です」

「お米が本当に助かっています」

「優しい声をかけてもらい、また頑張ろうと思えました」

アンケートを読むたびに、この活動を続けなければならないと強く感じます。

しかし、申し込みは開始と同時に定員が埋まり、「申し込みができなかった」という声も増えています。必要としている家庭すべてに届けられていない現実があります。

食材や生活用品は、企業・スーパー・生協・区民の皆さま、フードドライブ、荒川区子育て支援課、東京都の助成金など、多くのご協力で成り立っています。

しかし、活動を支える運営費（ガレージの家賃・保険など）には助成がなく、区民の皆さまからの寄付だけが頼りです。

この活動は、あらかわ子ども応援ネットワーク、荒川ボランティアネットワーク、荒川ボランティアセンターアゼリア、荒川ボランティアセンターなど、多くのボランティアの力で続いていますが、今、運営費の不足により継続が難しくなりつつあります。

子どもが安心してごはんを食べられること。

保護者が「明日もなんとかなる」と思えること。

今日の安心が、明日の希望になる。その小さな安心を守るために、どうかパントリー活動へのご支援をお願いいたします。

差し伸べた手の先には、子どもたちの笑顔が待っています。

子ども応援ネットワーク　パントリー活動

寄付の振込先

三井住友銀行　町屋支店

口座番号：7117406

名義：あらかわ子ども応援ネットワーク

お振込み後、下記まで

お名前・住所・電話番号・メールアドレスをお知らせください。

電話：03-3802-3338

メール：vorasen@arakawa-shakyo.or.jp